



早稲田大学総長 殿

所 属 大学院情報生産システム研究科
資 格 教授
氏 名 吉江 修 印

特別研究期間 研究成果報告書

- 1. 研究課題 知識ロジスティクスのためのコミュニティ形成に関する研究
- 2. 研究期間 2007年 5月 14日 ~ 2008年 3月 20日 (延長期間含む)
- 3. 研究場所 (国/都市・機関名)

米国/Palo Alto・FX Palo Alto Laboratory, Inc.

- 4. 研究成果概要 (2,000字以内)

 (1)適切な情報(知識)を、(2)適切なときに、(3)適切な
 形で、(4)安全に、(5)適切な対象に供給できるような情報
 ネットワーク環境の構築は重要な問題である。このよう
 な、「知識ロジスティクス」とも言うべき研究課題に対
 し、(1)を「情報の検索」、(3)を「情報の要約・統合・表
 現」、(4)を「セキュリティ」の問題ととらえ、ソフト
 ウェアエージェント、XML、Webサービス、Mixed Reality
 等の技術を用いていくつかの手法について提案・検討し
 た。一方で、このような技術をもものづくりにおける設備管
 理へすでに適用している、我々のユビキタス・メンテナン
 ス・プロジェクトを紹介した。これについては、FX Palo
 Alto Laboratoryのバーチャル技術が非常に参考になり、
 研究グループとさかんにデモンストレーションを含め意見
 交換を行った。折しも、サンフランシスコ市内に食品生産
 ラインが立ち上がりつつあり、その生産管理・顧客管理へ
 のICT適用という面から今後の研究方針を議論した。これ
 は、今後の共同研究として継続する予定である。

※ 研究期間終了後2か月以内に提出してください。ワープロ原稿の貼付も可。
 なお、学術研究活動情報(学術年鑑Web)のホームページに掲載しますので、電子メールでも産学官研究推進センター
 (tokkenseika@list.waseda.jp)までご提出くださるようご協力をお願いします。

